



## シスコのゲートウェイの削除

削除する記録を探すには、クエリー フィルタを定義する必要があります。Cisco CallManager データベースからゲートウェイのグループを削除する手順は、次のとおりです。

Delete Gateway Configuration ウィンドウでは、Cisco VG200 ゲートウェイと Cisco Catalyst 6000 ゲートウェイのみを削除できます。

### シスコのゲートウェイの削除

Cisco CallManager からゲートウェイを削除する手順は、次のとおりです。

#### 手順

**ステップ 1** Bulk Administration > Gateways > Delete Gateways の順に選択します。

Find and List Gateway Configuration ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** Find Gateways where ドロップダウン リスト ボックスから、次のいずれかのオプションを選択します。

- Name
- Description
- DN/Route Pattern
- Calling Search Space
- Device Pool
- Device Type

**ステップ 3** 2 番目の Find Gateways Report where ドロップダウン リスト ボックスで、次のいずれかの検索基準を選択します。

- begins with
- contains
- is exactly
- ends with
- is empty
- is not empty

**ステップ 4** 3 番目のドロップダウン リスト ボックスで、**Show** を選択して関連のエンドポイントを表示します。

**ステップ 5** 必要に応じて、適切な検索テキストを指定します。

**ヒント**

データベースに登録されたすべてのゲートウェイを表示するには、検索テキストを入力せずに **Find** をクリックします。

**ステップ 6** 複数のフィルタを追加するには、**AND** または **OR** を選択します。クエリーをさらに定義するには、ステップ 2 ~ 5 を繰り返します。

**ステップ 7** **Find** をクリックします。

検索されたテンプレートのリストが、次の項目別に表示されます。

- Device Name
- Description
- Device Pool
- Status
- IP address

**ステップ 8** Job Information 領域に、ジョブの説明を入力します。

**ステップ 9** Run Immediately オプション ボタンをクリックしてゲートウェイを即座に削除するか、Run Later をクリックして後で削除します。

**ステップ 10** **Submit** をクリックして、ゲートウェイ レコードを削除するジョブを作成します。

**ステップ 11** Bulk Administration メイン メニューの Job Scheduler オプションを使用して、このジョブのスケジュールやアクティブ化を行います。

ジョブの詳細については、第 51 章「ジョブのスケジュール」を参照してください。

ログ ファイルの詳細については、P.54-4 の「BAT ログ ファイル」を参照してください。

**注意**

クエリー テキストボックスに情報を何も入力しないと、すべてのゲートウェイ レコードが削除されます。削除は最終的な操作なので、削除したレコードは復元できません。

**その他の項目**

詳細については、P.45-3 の「関連項目」を参照してください。

## 関連項目

- [シスコのゲートウェイの削除 \(P.45-1\)](#)
- [Cisco CallManager へのゲートウェイの挿入 \(P.44-6\)](#)
- [ジョブのスケジュール \(P.51-1\)](#)
- [BAT ログ ファイル \(P.54-4\)](#)

